

# 旭民報

2009年  
5月3日  
=再刊=  
第485号訂

=連絡先=

発行所 日本共産党尾張旭市委員会  
Tel 0561152758 94 Fax 5114011  
川村つとむ  
塚本みゆき  
Tel 0901292713 776  
Tel 0527798113 002

鉄道駅で一日の乗降客数が5000人以上になると、交通バリアフリー法の定めでエレベータの設置や多目的トイレを駅に設置しなければならなくなります。

3月末、尾張旭駅北口にエレベータが設置され、尾張旭駅もバリアフリー基準を満たすようになりましたが、南口にもエレベータを設置して欲しい。旭前駅や、印場駅はどうなるの？そんな声が寄せられます。各駅の乗客数から考えてみました

## 印場は増加

### 旭前は減少

瀬戸電の一日平均乗降客数を調べたのが以下の表です。

印場や旭前の乗降客数は4000人を超え、印場は増加傾向、旭前は減少傾向です。この2駅周辺は、市内でも区画整理が落ち着いてきた地域。同じように増加傾向となっても良いはずなのに、なぜ？このような違いがあるのか。理由は駅を利用している人ならピン！とくるかもしれません。

## 駅の無人化

### を契機に

交通バリアフリー化法が新基準に改められ、施行直前の2006年10月、印場駅、旭前駅は無人駅となりました。

名鉄瀬戸線に『無人駅システム』とも呼ばれる、駅集中管理システムが導入された結果です。大曾根駅で無人となった駅の遠隔管理を行い対応しています。06年、07年の数字を見ると、それまで微増傾向だった旭前の乗降客数が落ち込みます。

## 駅舎の構造的特徴

旭前駅は南側にしか改札口が無く、そのため無人化される前は、名古屋方面から降りてきた乗客を北側のホームに乗務員が立ち、切符などを回収。北側のホームから、乗客を歩道へと誘導していった。帰宅時に行っていた乗客サービスのようでしたが、無人化後そうした対応が中止され、乗客は陸橋を渡って南口に行かなければ駅から出られなくなりました。

旭前駅の陸橋を嫌って乗客が他に逃げているのではないか？そう考えれば、表の数値は納得できるものです。

旭野高校生徒数が04年から120名ほど減少した影響もありますが、06年から07年の急減は、それだけでは説明のつきにくい数です。



めったに開かれることのない旭前北口

## 印場と旭前のバリアフリー化を求める署名始まる

市営100円バスの実現に、大きな役割を果たした『市内巡回バスを実現する会』が、これからは交通施策を総合的に考えようと名称変更し『交通問題を考える会』として4月から署名を開始。署名への反応は上々だと聞きます。

旭前駅のバリアフリー化は駅周辺の状況から困難がありますが、北側にも改札口があれば、旭前駅の乗降客数が伸びるのは間違いないと思われ、その点でも市は名鉄に強い態度で交渉に臨んで欲しいと思います。

年度	栄町	東大手	清水	尼ヶ坂	森下	大曾根	矢田	守山自衛隊前	瓢箪山	小幡	喜多山	大森・金城学院前
2003(H15)	42,813	4,203	2,325	2,784	2,095	21,717	712	2,095	4,011	11,322	6,208	10,668
2004(H16)	42,045	4,195	2,306	2,874	2,001	23,121	713	2,083	4,027	11,335	5,969	11,041
2005(H17)	41,676	4,104	2,338	3,042	2,025	24,610	714	2,007	3,936	11,494	5,868	11,653
2006(H18)	40,659	3,946	2,329	3,040	2,108	25,972	904	2,070	3,858	11,235	5,906	11,813
2007(H19)	40,765	3,652	2,185	3,076	2,156	27,471	970	2,141	4,016	11,354	5,866	12,097

前年比	05→06	06→07
栄町	97.6%	100.3%
東大手	96.2%	92.5%
清水	99.6%	93.8%
尼ヶ坂	99.9%	101.2%
森下	104.1%	102.3%
大曾根	105.5%	105.8%
矢田	126.6%	107.4%
守山自衛隊前	103.2%	103.4%
瓢箪山	98.0%	104.1%
小幡	97.7%	101.1%
喜多山	100.7%	99.3%
大森・金城学院前	101.4%	102.4%

H18→H19で減少した駅

印場	旭前	尾張旭	三郷	水野	新瀬戸	瀬戸市役所前	尾張瀬戸
3,752	4,507	7,283	9,708	3,636	9,626	1,381	10,364
3,850	4,538	7,386	9,715	3,490	9,845	1,398	10,160
3,921	4,595	7,494	9,808	3,830	9,981	1,486	10,862
4,022	4,566	7,454	9,574	3,948	9,760	1,660	10,155
4,256	4,488	7,637	9,674	瀬戸市はインターネット上での資料未公表?			

102.6%	99.4%	99.5%	97.6%	103.1%	97.8%	111.7%	93.5%
105.8%	98.3%	102.5%	101.1%				

データは、名古屋市、尾張旭市、瀬戸市作成の統計資料を各自治体ホームページから入手し加工したものです。名古屋の資料には、乗降客ではなく乗客数が掲載されているため、
$$\left[ \frac{(\text{総数} - \text{定期券利用})}{365} + \frac{\text{定期券利用}}{360} \right] \times 2$$
の計算式で算出。尾張旭市は統計に記載はありますが、下線の式で算出したため、数字の丸め方の違いで市資料とは、異なる部分があります。瀬戸の統計には乗客数の記載しか無いため、単純に365で除したものを2倍しています。名古屋と瀬戸の数値は、比較のための便宜的な値と考えてください。